

ご自由にお持ち下さい



With コロナ時代の 地域医療包括ケアセンター1

ACP (アドバンス・ケア・プランニング) 始めてみませんか	2
スリランカからの外国人技能実習生を受け入れています	3
地域包括ケア病棟開設のお知らせ	4
こころのサプリメント…魂の医者から救いを得る	5
Medical Healthy Recipe…非常食準備のポイント	5
私のストレスケアと「非日常」	6
地域医療包括ケアセンター 理念	6



2022
127
号





Withコロナ時代の 地域医療包括ケアセンター

地域医療包括支援センター長 山入端 浩之

2022年4月より、当法人の地域医療包括ケアセンターのセンター長を拝命しております、山入端 浩之（やまのは ひろゆき）と申します。どうぞ宜しくお願ひ致します。

昨今はコロナ禍のため、人と人との繋がりを大切にしてきた私たちアガペ会においても、様々な交流を制限せざるを得ない状況が続き、大変心苦しく思っております。

そんな中、2022年9月26日からは、全国で新型コロナウイルス感染症が全数把握から定点把握（特定の医療機関の感染者のみを保健所が把握）へ変更となり、正確な感染者数の把握は困難となります（増減の傾向は分かります）。また、療養期間が短縮されることを踏まえると、感染性のあるウイルスを排出している人が巷に増えることが予想されます。新型コロナウイルスの感染力自体が弱まっているわけではありません（ケンタウロス株ではさらに感染力が高まっている可能性も）ので、私たちアガペ会としては、これまでの疫学データを踏まえた慎重な対応を今後も続けていく必要があると考えています。

ただし、私たちアガペ会にはこれまでの新型コロナ感染症へ対応してきた経験があります。その経験を踏まえ、感染対策を講じながら、私たちが大切にしてきた人と人との繋がりを取り戻す活動を広げていきたいと考えています。そのために、お一人お一人に合った対策や対応を療養者ご本人やご家族と共に考えていきたいと思っています。

また、私たちアガペ会は対象者やサービス内容の異なる社会福祉施設（高齢者対象）をいくつも運営させて頂いております。その強みを活かし、各施設が横断的に連携することで、療養者に最適な環境をご提案できることと思います。そして、各施設は管理者を中心に運営していますが、形態は違えど、アガペ会の理念で繋っています。「アガペに生かされ、アガペに生きる」という理念はどの施設でも基本的な活動指針とし、「お一人お一人にとってのベストを探求し続ける」ことで療養者の皆さんにお示ししていると考えています。

皆さんも一緒に、コロナに負けない、心豊かな社会を創っていきましょう。

ACP(アドバンス・ケア・プランニング) 始めてみませんか

緩和ケア認定看護師 内間佐和子

みなさん、『ACP(アドバンス・ケア・プランニング)』という言葉を知っていますか？ACPとは“もしもの時、もしもの事”に備え、自分が大切にしている事や希望、どのような医療やケアを望むかあるいは望まないのかを考え、信頼する人達と一緒に繰り返し話し合うことを言い、人生会議とも呼ばれています。

なぜACPが必要なのでしょうか

それはあなたが人生を終える時まであなたしく生きていくためです。命に関わる大きな病気や怪我をする可能性は皆に平等にあります。もしそうなった時に、どこでどのような医療を受けたいのか、何を行って何を行わないか。これだけは譲れないという思いがあるのではないか。この「何故その選択をするのか」にあなたしさが表れます。もちろんご自身で選択できる事がベストですが、命の危険が迫った状態になると、約7割の方が自分で決めたり望みを伝えたりする事ができなくなると言われています。そのような場合でもあなたしく生きていくためには、あなたの代わりに選択を行う人達があなたの思いを十分理解していなければなりません。そのためACPが必要になるのです。

ACPはいつ、どのように行えば良いのでしょうか

それは元気な時から始め、そして人の考えは移りゆくものなので、何度も繰り返し行うのが良いとされています。とはいっても、急に何をどう考え話し合えば良いのか…なかなか難しいですよね。そこで当法人では、直接記入しながらACPを行う事ができる「もしもノート」という冊子を作成しました。

もしもノート

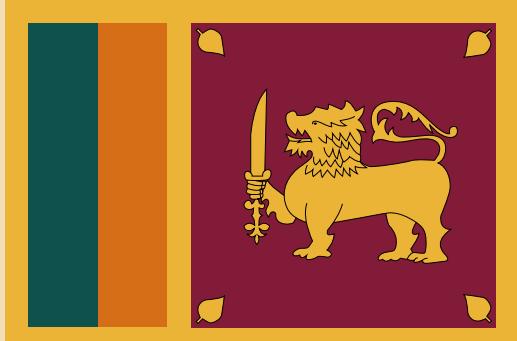
この冊子は、あなたが大切にしてきた事、大切にしたい事がまとめられる内容となっており、これを書きながら自分らしい生き方を探し、大切な人とそれを伝え合える「ACPのきっかけ」になる事を期待して作られています。

もしもノートは当法人の各施設、外来ロビー等へ設置しております。お立ち寄りの際はお気軽に持ち帰り下さい。またアガペ会ホームページからのダウンロードも可能です。この機会に是非大切な人と「ACP」=人生会議、始めてみませんか。



<https://www.agape-wakamatsu.or.jp/wp-content/uploads/2022/04/mosimonote.pdf>

※) 厚生労働省HP 人生会議(ACP)普及・啓発リーフレットより



スリランカからの外国人技能実習生を受け入れています

介護老人保健施設若松苑 當眞 翠人（介護福祉士）

新型コロナの感染拡大で延期になっていました、アガペ会で初めての外国人技能実習生の受け入れが8月1日にスタートしました。

技能実習制度は開発途上国へ技術を移転して、国際貢献をする目的で創設されました。人材不足が懸念される介護業界においても、人材の確保に繋がると期待されています。2017年、同制度に「介護職」が追加されてから右肩上がりに増加しており、2020年には申請10,225件、認定8,625件と3年間で20,000人超の介護技能実習生の受け入れ申請がありました。

アガペ会に来た実習生はスリランカ人のアヌーシャ・スバーシニーさんとドゥレイシャー・バーシニーさんです。彼女たちの母国スリランカは、日本から約6,600km離れたインド洋に浮かぶ島国で、面積は北海道と同じくらいです。スリーとは「輝く」、ランカーとは「島」で、スリランカは「輝く島」という意味です。その美しい自然と島の形からインド洋の真珠と呼ばれています。2019年世界で一番読まれているガイドブックで行くべき国1位に選ばれています。人口は約2,160万人でシンハラ人が75%を占めていますが、その他にも6つの民族構成とシンハラ語、タミル語など多様な言語、仏教を始めヒンドゥー教、キリスト教など多宗教です。

日本でもよく知られているのが、セイロン茶とスリランカカレーだと思いますが、実は彼女たち料理上手です。ゴーヤーはスリランカにもあるそうで、それを使った和え物をご馳走になりましたが、スペイスの効いた、初めて食べる味で絶品でした。



二人の優しい人柄から、療養者様からも声をかけて頂いています。これから3年間若松苑で介護の技術を習得しますので、皆様「よろしくお願ひします」。

シンハラ語では「SahayogenWedaKaramu サハヨーゲンラドゥカラム」。

地域包括ケア病棟開設のお知らせ

2022年7月1日より、当院の1病棟(一般病棟25床)を
地域包括ケア病棟(51床)に変更いたしました。

これまで以上に在宅での療養生活の支援が出来るようになります。

地域包括ケア病棟の役割とは

地域包括ケアシステム(高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するために「医療」「介護」「住まい」等が協力しあって「時々入院、ほぼ在宅(高齢者施設含む)」を支えるシステム)を支えるための病棟で、主に以下の方々が入院対象となります。

- ① 高度急性期や急性期病院から急性期治療を受けた後、すぐに自宅や施設に戻ることが難しい場合(継続した医療やリハビリ、社会資源の調整が必要な場合)
- ② ご自宅や施設から発熱やその他の体調不良時に入院治療が必要な場合
- ③ ご自宅や施設での介護を継続するために、必要な検査やリハビリを受けたり、介護者の休養が必要な場合

つまり「**在宅や施設での療養生活を支えるための病棟**」です。

入院期間は、病状や介護の状況によっても異なりますが、最大60日までの入院となります。
ご不明な点は**遠慮なく**下記相談窓口にお問合せください。

地域包括ケア病棟への受入れの流れ

●急性期病院からの転院 ➔ 診療情報提供書等をご準備いただき、**当院相談員**へご連絡ください。

●他院外来からの入院相談
●施設等からの入院相談
●自宅からの入院相談

} ➔ **当院地域連携室**へご連絡ください。
(主治医・嘱託医による診療情報提供書等が必要になります)
※主治医がない場合のご相談も受け付けます

患者さん・ご家族の方へ 入院後に、医師より治療方針・入院期間について説明があります。その後、多職種連携で退院支援を行いますので、一緒に在宅への生活に向けての準備や環境整備をしましょう。

施設職員の方へ 施設入所後の支援も行っております。不安な医療・介護ケアについて、いつでもご相談下さい。

【地域包括ケア病棟に関するお問い合わせ】 ☎098-935-2277(代表) fax.098-935-2272

受付・相談時間……月～金 9:00～17:00

■相談員(渡嘉敷 080-8956-9873・崎原 080-8956-9859)

■地域連携室看護師(安次富 090-6944-6702)

魂の医者から救いを得る

チャプレン室 金 知明

幼い子どもが熱を出しました。一日休息を取り、体調は回復してきたものの、どこか本調子ではない様子です。そんな状況が一週間続くとどうでしょうか。どこかいつもとは違う本人の様子が二週間、三週間目も続くとどうでしょうか。

周りの人は心配し、子どもを病院に連れて行くと思います。体の不調の原因を専門家のもとできちんと調べて、改善に向けて出来る限りの対策を取るためです。より大ごとにならないために、本人も周りも安心して過ごせるように備えるのです。

『医者を必要とするのは、健康な人ではなく病人である。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさ

せるためである。』

聖書（ルカによる福音書5章31～32節）

私達の体の不調は、医者のもとで癒やされ健康を得ます。私達の魂の不調は、神のもとで癒やされて救いを得ます。魂の不調を置いたままにしておくと、救いを得ないまま人生を終えるのです。

あなたが負う必要のない責任や精神的重圧、人生の様々な重荷を降ろせる場所があります。魂の医者である神の前に、すべての重荷を降ろし、今までの人生を改めて救いを得、新たな人生を歩むのです。



チャプレン室
「こころのサプリメント」

Medeical
Healthy
R Recipe

備えて
安心!!

非常食準備のポイント

北中城若松病院 栄養課
大兼久 千夏（管理栄養士）

非常食を準備していますか？

近年、大規模災害や感染症などが起こる中で、非常に備えた準備が重要になってきています。農林水産省では自宅での避難生活を想定して、最低でも3日分できれば1週間分の備蓄（非常食）が必要といわれています。今回は非常食を準備する上でのポイントを紹介致します。

- ① 非常食は最低3日分～1週間分。
- ② 水（1人あたり2Lを3日分～1週間分）。
- ③ 買い溜める前に、自分が好きな味の非常食を探してみる。
最近の非常食は温かいご飯が食べれるものや、冷めてても美味しいもの、パンや牛丼など種類が豊富にあるので、気になる物を皆で食べ比べしてみると良いでしょう。
- ④ 非常食の容器の検討
缶詰やスタンド型のレトルトパウチは器がいらないので、洗う必要がありません。
- ⑤ お箸やスプーンなど使い捨て食器も忘れないように



ホームセンターや生活雑貨のお店などの防災コーナーで販売されていますので、検討してみてください。

私のストレスケアと 「非日常」

認知症リハビリ課
松本 苑（公認心理師）

初めまして。昨年度から若松病院で心理士として働いている松本と申します。入職当初から、当院でもコロナウィルスへの対策に追われ、心理士として何ができるか考える日々がありました。このようにコロナ渦になってから自分のストレスケアを見つめ直す機会が多くなったように思います。

私のストレス解消法は、コーヒーショップのコーヒーをお供にドライブすることと城等の歴史を感じる場所を訪ねることです。なぜこの2つが自分にとってストレス解消になるのかを検討してみると、これらには共通点があったのです。それは「非日常を味わえる」ということです。私にとってそのコーヒーショップは幼い頃憧れていた特別なもので、今でもあの看板を見るとテーマパークに来たようなワクワクする子どもに戻る高揚感があ

ります。そして2つ目の歴史を感じる場所は、例えば城を訪れると何百年前のここには人が暮らしていて、どんな服装で、どんな気持ちで、どんな人生があったのだろうと当時に思いを馳せるのです。2つとも「現在」という日常から離れ、普段の自分を側において非日常を味わうことができます。日常を生きていくためには、時に日常と距離を置いた非日常に浸かる。ストレスケアのためにも、皆さんも「非日常」を意識されてみてはいかがでしょうか。



**新型コロナウィルス感染対策の為、面会制限を行っております。
県内の感染状況により面会方法は異なるため、詳細はホームページでご確認下さい。**

地域医療包括ケアセンター 理念

医療と福祉で 地域にくらす人達の 充実した人生のために貢献する

地域医療包括ケアセンター 事業所

- | | | |
|----------------------|-------------------------|----------------------|
| ①ファミリークリニック きたなかぐすく | ⑦グループホーム わかまつ | ⑬宜野湾市地域包括支援センター ふてんま |
| ②訪問リハビリテーション きたなかぐすく | ⑧看護小規模多機能ホーム 若松 きたなかぐすく | ⑭新オレンジサポート室 |
| ③通所リハビリテーション きたなかぐすく | ⑨アガペファミリエ | ⑮宜野湾市赤道老人福祉センター |
| ④ケアプランステーション ゆい | ⑩グループホーム 若松 ぎのわん | ⑯宜野湾市伊利原老人福祉センター |
| ⑤訪問看護ステーション 若松 | ⑪デイサービス 若松 ぎのわん | |
| ⑥ヘルパーステーション 若松 | ⑫小規模多機能ホーム 若松ぎのわん | |

それぞれの施設が個性を持って、在宅や地域の方々を支えていきます。



アガペ会理念

アガペ(神の愛)に生かされ、アガペ(神の愛)に生きる

わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい（聖書 ヨハネ福音書13章34節）

《理念の意味》 アガペとは「神様の愛」というギリシャ語です。私たち職員は、神様と周囲の多くの方々に愛されて生きてきた事を感謝し、神様が愛されている目の前の療養者・利用者とそのご家族の皆さんのお幸せ、職員とその家族の幸せ、地域社会の方々の幸せを目指して医療とケアを提供していきます。

北中城若松病院

〒901-2395 沖縄県北中城村字大城 311
☎/098-935-2277 FAX/098-935-2272

- ・地域包括ケア病棟
- ・回復期リハビリ病棟
- ・認知症治療病棟
- ・特殊疾患病棟
- ・認知症デイケア あしゃぎ
- ・認知症疾患医療センター ☎/098-975-6122

介護老人保健施設 若松苑

〒901-2314 沖縄県北中城村字大城 327
☎/098-935-5858 FAX/098-935-5807

- ・入所療養介護
- ・短期入所療養介護
- ・若松苑デイサービス
- ・若松苑訪問リハビリテーション

地域医療包括ケアセンター

複合型高齢者施設 ふれあいの里 若松

〒901-2311 沖縄県北中城村字喜舎場 360-1

- | | | |
|-----|---------------------|---------------------------------|
| 3F | サービス付高齢者住宅 アガペファミリエ | ☎/098-935-4165 |
| 2F | グループホームわかまつ | ☎/FAX/098-935-1021 |
| 1F | ファミリークリニックきたなかぐすく | ☎/098-935-5517 FAX/098-982-0708 |
| | 通所リハビリテーションきたなかぐすく | ☎/098-982-0717 |
| | 訪問看護ステーション若松 | ☎/098-935-5818 |
| | 訪問リハビリテーションきたなかぐすく | ☎/098-923-3154 |
| B1F | ヘルパーステーション若松 | ☎/098-935-5202 |
| | ケアプランステーション ゆい | ☎/098-935-3066 · 098-935-5968 |
| | 地域医療包括ケアセンター事務所 | ☎/098-935-3093 |
- クリニック以外の事業所のFAXは098-935-5855（共通）

看護小規模多機能ホーム若松 きたなかぐすく

〒901-2316 沖縄県北中城村字安谷屋 1346 番地1 (1F)
☎/098-982-0181 FAX/098-982-0183

グループホーム若松 ぎのわん デイサービス若松 ぎのわん

〒901-2201 沖縄県宜野湾市新城 1-20-6
☎/098-892-5104 (グループホーム) FAX/098-892-5111
☎/098-892-5105 (デイサービス) (両施設共有)

小規模多機能ホーム若松ぎのわん

〒901-2206 沖縄県宜野湾市愛知 2-3-2
☎/098-892-1673 FAX/098-943-1085

宜野湾市地域包括支援センター ふてんま 新オレンジサポート室

〒901-2202 沖縄県宜野湾市普天間 1-9-3
☎/098-943-4165 FAX/098-943-4067 (ふてんま)
☎/098-943-4085 FAX/098-943-4702 (新オレンジサポート室)

宜野湾市赤道老人福祉センター

〒901-2205 沖縄県宜野湾市赤道 1-5-17 ☎/098-893-6400

宜野湾市伊利原老人福祉センター

〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐 4-3-17 ☎/098-890-7131

<https://www.agape-wakamatsu.or.jp>

※今号で使用している写真はご本人の同意を得て掲載しております

